

花咲く秋を楽しみに

6月4日、水城公園あおいの池で、南小学校の3年生52人によるホテイアオイの苗の投げ込みが行われました。毎年行われているこの行事は、昭和50年から続いており、今年で39回目となります。児童たちは、「せーの」の掛け声とともに25,000株の苗を元気よく投げ込みました。9月から10月にかけて見頃を迎えるホテイアオイ。今年も池一面に薄紫色のきれいな花を咲かせ、訪れる方を楽しませてくれることでしょう。



もっと身近な忍川に

6月7日、行田市駅北口広場付近の忍川で、「忍川に遊ぼう！ in 行田～川ガキ！ 集まれ！～」が行われました。この催しは、行田市民大学同窓会「水辺と森を楽しむ会」が、子供たちが水辺で気軽に遊べる環境をつくろうという思いから、実現したものです。当日は雨により、カヌーやボート遊びなど一部のイベントは中止となりましたが、忍川にすむ魚の展示や魚・カメなどのつかみ体験が行われました。会場を訪れた子供たちは、恐る恐る魚やカメを触るなど、普段味わうことのできない貴重な体験をしていました。



大好きなお母さんと一緒

5月30日、VIVAぎょうだで「親子で楽しく！リズム体操&かんたんせいさく」が行われました。この日は、15組の親子が参加。子供たちは、リズム体操をはじめ、ボール遊びや望遠鏡づくりなどさまざまな遊びを体験しました。全身を使って元気いっぱい遊んだ子供たちは、大好きなお母さんと一緒に楽しいひとときを過ごしていました。



熱中症をみんなで防ごう！

6月2日、商工センター401研修室で熱中症予防対策勉強会が行われ、市民けんこう大学の学生や民生委員・児童委員など135人が参加しました。この勉強会は、本市と大塚製薬㈱との間で締結した「健康づくりにおける相互応援協定」に基づき、一人でも多くの市民の皆さんに熱中症の予防知識を知ってもらうために行われたものです。大塚製薬㈱の竹下浩一さんをはじめ専門の講師から分かりやすい説明を受けた参加者は、改めて水分と塩分を適度に摂取するとともに普段の生活から体調管理をしっかり行うことが大切であることを学びました。



愛され続ける行田の大将

6月7日、商工センターホールで「大将まつり～成田長親 忍城城代424周年記念～」が行われました。この催しは、天正18年(1590)6月7日に、成田長親が忍城城代に就いてから424周年を記念して行われたもの。忍城おもてなし甲冑隊によるユーモアと力強さを合わせ持つ演舞や、埼玉ご当地ヒーローズ「彩光戦士彩セイバー」の華麗な演技が披露されました。また、行田市ゼリーフライ大使の潮崎ひろのさんも参加。優しい歌声を届けると、会場は温かい雰囲気になりました。映画「のぼうの城」の公開以来、全国的に有名となった「のぼう様」こと成田長親は、これからも行田を代表する歴史上の人物として愛され続けることでしょう。



親子で楽しく日本酒づくり

6月8日、星宮地内の田んぼで酒米の田植えが行われ、「市制施行65周年記念事業 オール行田の日本酒づくり」がスタートしました。市民提案記念事業として行われたこの催しは、酒米の田植えから稲刈り、さらには日本酒のラベル作りまでを親子で楽しむというもの。この日の天気はあいにくの雨でしたが、それでも25組の親子が参加しました。田んぼに足をとられながらも、丁寧に苗を植えた子供たち。この日の貴重な体験が、すてきな思い出としてずっと心に残ることでしょう。



水城公園と忍城址を愛着のある公園に

5月31日、水城公園および忍城址周辺の清掃活動が行われました。行田のまちをゴシゴシ委員会が主催するこの活動は、今回で22回目を迎えました。市内の小・中学生をはじめ、各種団体に所属している方497人が参加し、「水城公園と忍城址をきれいで愛着のある公園にしよう」と、約1時間汗を流しながら熱心にごみ拾いを行いました。参加者は、この活動を通して美化意識をさらに高めることができたようです。

